

平成29年度 全国学力・学習状況調査に関する調査結果（中3）について
平成29年4月18日に行われた全国学力・学習状況調査に関する調査の結果がでましたので、
本校の結果概要をお知らせします

3年生国語

<分析>

- ・本校の国語の正答率は、概ね県平均・全国平均と同程度です。内訳を見ると、応用よりも基礎の正答率が高くなっています。
- ・基礎問題では、定期考査や朝学習の時間で取り組ませてきた「原稿用紙の使い方」や「課題に合わせた作文を書くこと」といった力がついてきているのが確認できました。また、「文章の要旨を捉える」という主旨の問題や「構成や展開について考えること」に関する問題についての得点率は特に高くなっています。
- ・応用問題では、「話すこと・聞くこと」の項目が全国平均を大きく上回っていました。定期的に聞き取り問題に取り組ませてきているため、メモのとり方などの対応に慣れてきているようです。その反面、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については県平均・全国平均との差が開いていました。漢字の意味や文法事項など、基礎から復習を行っていく必要があります。

<対策>

- ・この実態から、基礎については漢字・文法の知識を朝学習の時間に行うなどして、知識の再補強を行っていきたいと考えています。
- ・作文の基礎事項はできているので、様々なパターンの課題作文に取り組ませていき、書き言葉でのコミュニケーション能力を育てていきます。
- ・「話すこと・聞くこと」について、テスト形式に留まらず、日頃の話し合い活動やプレゼンテーションなどの多角的なものの見方やコミュニケーション能力を身につけるための授業を充実させ、「生きる力」としての国語の応用力を高めていきます。

3年生数学

<分析>

- ・本校の数学の平均正答率は、A問題（主として知識）は全国平均正答率とほぼ同程度、B問題（主として活用）において、全国平均正答率を下回っています。
- ・主として知識に関する問題では、「数と式」「関数」の分野は、全国平均と同程度でしたが、「図形」「資料の活用」においては、全国平均を下回りました。主として活用に関する問題では、すべての分野において、全国平均を下回りました。
- ・この実態から、朝学習や授業でのプリント学習による繰り返しの計算練習によって、「数と式」分野は、定着してきているのがわかりますが、その反面「図形」「資料の活用」などの分野の補充が必要だということもわかります。

<対策>

- ・「数と式」分野は、基礎的な問題に加えて応用問題にも取り組める学習プリントをつくる。
- ・「図形」は、特に証明問題を含めて朝学習の内容に組み込む。
- ・家庭学習のアドバイスを行うとともに、ワークだけではなく、繰り返し行えるようにプリントなどを用意する。